







## 微妙な運命の帰結

# 忘れ得ぬ人々

僕にとって『忘れ得ぬ人々』などあるのかと考えているうちに、高校の『忘れ得ぬ人々』という隆のエッセーだったのだが、そのはやがては別離を予想されることがあるだらう。ここに若い人の瞳がある。

独歩

は離れ離れになつて、いつかは戻る友などと言つておらず、僕には、それが單にこの世に在る。

今まで大丈夫なのだ、と思つていい矢先に、自ら死地へ赴く友が出て来たことをほんの少しだけショックだった。

彼等も許してくれるであろうと思つた。

しかし、この二人のまことに忘れていた。

兵隊にとられるときには止むを

を続けて行きたいし、大学を出る

身近に引き寄せた一人の友の学業

の途中での軍隊志願が微妙な運

争は終わりに近づいていたので

始めて「死」の実感を僕たちの

今年度になつて、号外を別にし

て、第一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第二十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第三十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第四十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第五十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第六十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第七十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第八十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第九十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百二十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十一号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十二号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十三号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十四号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十五号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十六号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十七号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十八号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百三十九号目、高校阿倍野新聞と

しては、第一百四十号目、高校阿倍野新聞と